

The logo for FANTIC, featuring the brand name in a bold, italicized, red sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight slant to the right. The background is black with a large red diagonal stripe on the left side.

FANTIC

ENDURO

250

FANTIC製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

お買い上げいただいた車両の運転前に、このマニュアルをよくお読みください。本書には、車両メンテナンスや使用に関する情報、アドバイス、警告が記載されています。また、使用上のガイドがシンプルかつ明瞭に記載されています。このマニュアルを活用していただくことにより、お客様は新しい愛車に自信を持ち、未永く快適にご使用いただけるものと確信しています。

ご挨拶	2	車両取扱いに関する基本事項	21	バッテリー	63
はじめに	4	車両ID	21	フューズとリレー	64
シンボルマーク	5	メインコントロール	23	ライトとターンシグナル	65
一般警告事項	5	パネルコントロール	25	リアビューミラー	66
モーターサイクルのケア	6	ダッシュボード：基本機能	26	メンテナンステーブル	67
一酸化炭素	6	イグニッションスイッチ	37	メンテナンススケジュール	68
燃料	6	ステアリングロック	38	推奨製品	73
高温のパーツ	6	ホーンボタン	39	テクニカルデータ	75
エンジンオイルとギアボックスオイル	7	ターンシグナルスイッチ	39		
ブレーキフルード	8	ライト	39		
バッテリー電解液と水素ガス	8	ハイビームフラッシュボタン	40		
エキゾースト	9	スタートボタン	40		
注意事項と一般警告事項	9	エンジンストップボタン	40		
基本的な安全上のルール	10	サドルオープン	41		
運転と走行	10	給油	42		
車両の使用	10	長期保管	43		
始動	13	メンテナンス	47		
服装	19	はじめに	47		
盗難防止のヒント	19	予備点検	47		
駐車	19	エンジンオイル	49		
輸送	19	タイヤ	51		
サイレンサー	20	スパークプラグ	54		
		エアフィルター	54		
		クーラント	54		
		ブレーキシステム	55		
		サスペンション	58		
		チェーン	61		

- ◆このマニュアルは、車両の構成要素として不可欠なもので、車両を売却する際には必ず車両と共に引き渡す必要があります。
- ◆Fantic Motor社は記載されているモデル、仕様、および設計データを予告なしにいつでも変更、さらに変更する権利も有します。
- ◆本書および本書の一部はFantic Motor社の承認なしに省略および翻訳することはできません。
- ◆弊社の許可なしにこのマニュアルの内容を複製することを禁じます。Fantic Motor社は、本書の印刷ミスや落丁について一切責任を負いません。

MANUFACTURER DATA AND EDITION

Fantic Motor Via
Scattolin, 4
Tel. +390422634192
Fax +390422 1830124
E-mail: info@fanticmotor.it
www.fanticmotor.it Edizione: 00/2020

本書に記載されているシンボルマークの箇所は非常に重要で、特に注意を払う必要がある内容に関して使用されています。エンジンを始動する前にこのマニュアルをよく読み、お客様自身や他の人々の安全を確保するためにも、車両に関する知識や車両の状態、そして安全運転に関する知識が必要です。そのため、お客様自身が車両に精通し、あらゆる状況で熟練した技術で安全に操作できるようにすることを推奨します。

本書では警告事項を示す際に以下のシンボルマークマークが使用されています。



車両およびライダーにとって重要な安全上の規制。



車両の使用や特性に関する情報。

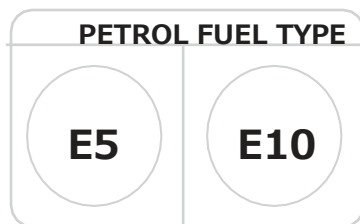
車両のケア

Fantic Motor社の車両は、適切な車両ケア用品の使用を推奨します。アルコール成分、塗料などの希釈剤、ガソリンなどを含む製品を使用すると、車両の部品が破損したりダメージを受けることがあります。
定期的なケアを行うことにより、車両の美観および機能を長期間保つことができます。

一酸化炭素

 排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは人体に有毒であり、死亡する原因となる可能性があります。特定の作業をする場合は、必ず屋外か、十分な換気ができる部屋で行ってください。密閉した空間では作業しないでください。密閉された空間で作業する場合は、排気ガスを外部に排出するシステムがある場所で行ってください。

燃料



 使用されているガソリンは非常に可燃性が高く、状況によっては爆発・炎上します。給油やメンテナンス作業は、必ず換気の行き届いた場所でエンジンを切った状態で行ってください。給油時や蒸発ガスが溜まっていると考えられる付近では喫煙しないでください。裸火、火花その他の火気や爆発源との接触を避けてください。

 周囲にまき散らしたり、子供を近づけないでください。

高温になるパーツについて

エンジンおよび特定のパーツは非常に高温となり、エンジンを切った後もしばらく高温のままです。エンジンやエキゾーストシステム付近の作業を行う場合には、保護手袋を着用するか、温度が下がるのを待ってください。

使用済のエンジンオイルおよびギアボックスオイル

使用済みのエンジンオイルおよびギアボックスオイルを飲み込んだり気体を吸い込むと有害です。また、刺激性があり肌に触れると深刻な症状を引き起こす可能性があります。

環境中へ放出および拡散させることは禁じられています。

-  飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。
-  皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。
-  目や耳に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。
-  衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。
-  メンテナンス作業の際は、必ず手を保護する適切な手袋を着用してください。子供が近付かないようにしてください。
-  使用済のエンジンオイルおよびギアボックスオイルは密閉できる容器に回収し、お近くのサービスステーションまたは廃棄処分の認可を得たスタッフのいる廃油回収センターへ持ち込んでください。



ブレーキフルード

 ブレーキフルードが付着すると、塗装面、プラスチックあるいはラバー製の表面がダメージを受ける場合があります。ブレーキフルードに関する作業を行う際は、清潔な布でコンポーネントを保護してください。

 常に保護メガネを着用し、もし目に入った場合は直ちに大量の流水で洗い、すぐに医師に相談してください。子供が近付かないようにしてください。

バッテリーからの電解液と水素ガス

 バッテリーの電解液は有毒で腐食性があります。硫酸を含んでいるため皮膚に付着すると火傷を負うおそれがあります。手袋と保護衣を着用してください。

 電解液が皮膚に付着した場合、流水で完全に洗い流してください。

 バッテリー液が目に入ると失明のおそれがありますので、必ず目を保護してください。もし目に入った場合は、水で15分間完全に洗い流し、速やかに眼科専門医に相談してください。

 バッテリーは爆発性のガスを放出します。炎、火花、その他の熱源を近づけないでください。バッテリーの保守作業や充電の際は適切な換気措置を講じてください。

 子供が近付かないようにしてください。

 バッテリー液は腐食性です。特にプラスチックの部品には、バッテリー液が飛び散ったりかかったりしないようにしてください。

 定期的に廃棄してください。

エキゾースト

 このパーツは、排気ガスの一酸化炭素を酸化して二酸化炭素に変換し、不燃の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を酸素と窒素に変換して窒素酸化物を削減する機能を担っています。
車両の使用時、エキゾーストシステムの触媒エレメントに対応する部分は鮮やかな赤色を帯びる場合があります。この色の変化は正常であり、触媒の正しい動作を示します。

乾燥した茂木がある場所の近くでは、車両を停止したり駐車したりしないでください。

子供および / または人々が近づく可能性のある場所は避けてください。

サイレンサーは高温になるため、接触を避け、完全に温度が下がるまでは最大の注意を払ってください。

エキゾーストシステムを改造、変更、改ざんすることは禁じられています。

有鉛ガソリンは触媒にダメージを与えるため、使用しないでください。

エキゾーストシステムに穴や錆または損耗の兆候が無いか確認してください。

エキゾーストシステムが常に正しく作動することを確認してください。

注意事項と一般警告事項

 マニュアルで指示されない限り、どの機械的部品も電気的部品も分解しないでください。

安全に走行するために

人や物へのダメージを避け、より安全に車両で走行するためのヒントを記載します。

車両の使用

車両を使用する際は、全ての法令を順守する必要があります。

危険な操作を避けるため、常に両手でハンドルバーを握り、両足をステップに置いてください。運転中は細心の注意を払ってください。



飲酒時や服薬の影響を受けている時、特定の医薬品を摂取した後、あるいは肉体的に疲労している時や睡眠不足の際は運転しないでください。この状態は非常に危険であり、運転を行うと人や物に深刻な危害を与えるおそれがあります。

運転の際は路面の状態、視界、天候をよく観察し常に安全に考慮してください。安全に運転するのが難しい状況では速度を落とし、慎重に運転してください。濡れた路面での最初のブレーキの効きは弱いです。このような条件下では頻回にブレーキをかけることをお勧めします。

砂や泥のある路面や除雪剤がまかれた道路を走行すると、ブレーキパッド内部に泥や砂などが入り込み摩耗しやすくなります。これを防ぐため、ブレーキディスク、キャリパーを点検し、必要に応じて洗浄することをお勧めします。



車両に元から付いている機能や性能を改造したり変更しないでください。それら車両の不正な改造や変更は、走行に危険を及ぼす違反車両とみなされ法律で禁止されています。車両の改造や変更を行うと、保証が取り消されるだけでなく、罰金の対象となる場合があります。



車両の装備に関しては、お住まいの国や地域の法規制に従ってください。

車両への乗り降りでは、身体の動きを妨げるものが周囲に無い状況で行ってください。

乗り降りではサイドスタンドを下げた状態で常に車両の左側から行き、バランスを崩して転倒しないよう注意してください。



ライダーは常に同乗者より先に乗車、後に降車し、同乗者が乗降中の車両の安定はライダーが確保してください。

乗車

同乗者が乗車する際は、車両がバランスを崩さないよう細心の注意を払ってください。ライダーは両足を地面に着け、走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドしてください。



サイドスタンドは車両単体の重量を支える設計です。ライダーや同乗者の荷重を支えるようには設計されていません。



乗車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。

同乗者のフットレストを引き出し、同乗者が乗車し終わるまで待ちます。



ライダーは同乗者に乗車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように乗車します。



同乗者は左側のフットレストを使い、常に車両の左側から乗車します。

ライダーは左足でサイドスタンドをはらって収納します。

降車

平坦で障害物の無い、駐停車に適した場所に車両を止めます。左足でサイドスタンドを完全に引き出します。

-  降車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。

走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドして、同乗者が降車するのを待ちます。

-  同乗者は左側のフットレストを使い常に車両の左側から降車します。
-  ライダーは同乗者に降車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように降車します。
-  同乗者は車両から飛び降りたり、足を地面に着こうと無理に足を伸ばして降りたりしないでください。車両のバランスが崩れ、最悪、車両が倒れる可能性があります。

車両を傾けるとサイドスタンドが地面に接地します。ライダーの降車後、ハンドルバーを左へ完全に回して下さい。

-  車両が静止し安定していることを確認します。
-  車両の損傷を防ぐため、ライセンスプレートホルダーフレームを持って車両を持ちあげないでください。

始動

キーを時計方向に回してステアリングロックを解除し、サイドスタンドが完全に上がっていることを確認して、正しい姿勢で乗車します。



サイドスタンドが出ている場合、車両はギアがニュートラルの状態でのみ始動します。この状態でギアを入れようとすると、エンジンが停止します。



フロントおよび／またはリアブレーキをかけます。
クラッチレバーを引き、ギアがニュートラルに入っていることを確認します。



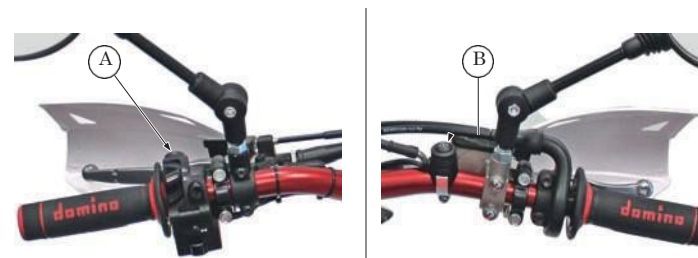
キーをONの位置まで回し、メーターの起動動作から通常の標準画面が表示されるまで数秒間待ちます。



ギアをニュートラルにします。クラッチレバー A を引き、次にスタートボタン B を 1 回押します。

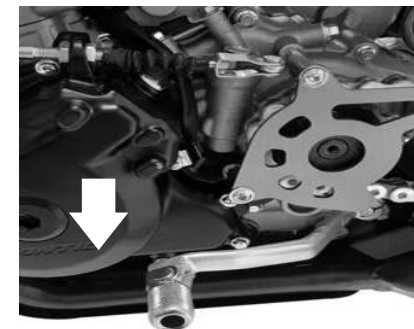
 エンジンを適切に温めるため、最初の数キロメートルは低速で運転することを推奨します。エンジンが温まる前に急激に発進しないでください。

 燃料警告灯が点灯したら、できるだけ早く給油してください。



始動

車両を始動させエンジンが適温になったら、クラッチレバーを操作してギアを1速に入れます。ダッシュボードのニュートラル表示灯が消えます。



クラッチをゆっくりと解除し、徐々に加速して車両を前進させます。

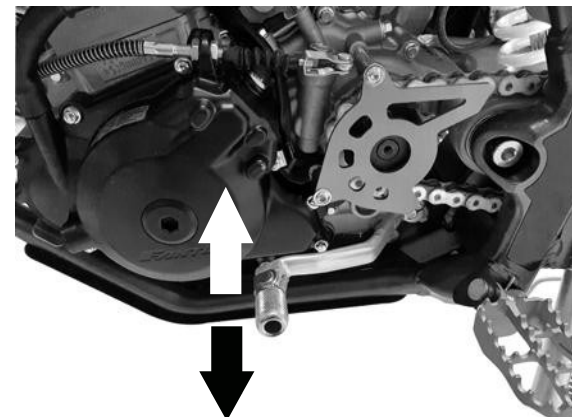


ギアボックスの使用

ギアチェンジを行うには、クラッチレバーを操作してスロットルコントロールノブを緩め、ギアボックスペダルを上げてシフトアップ、ペダルを下げてシフトダウンします。

 運転初心者の場合、車両の操作部とその機能についてよく習熟しておくことが重要です。

 ギアは1速ずつシフトしてください。一度に1速より多くシフトアップ、シフトダウンすると、エンジン回転数が上がり、規定の回転数を超える可能性があります。



エンジン停止

車両およびエンジンを停止させるには、車両が停止するまでフロントおよび／またはリアブレーキをかけます。シフトレバーをニュートラルにします。

 車両の走行中にエンジンストップボタンを押さないでください。車両が停止し、エンジンが損傷するおそれがあり、車両が制御不能になる可能性があります。

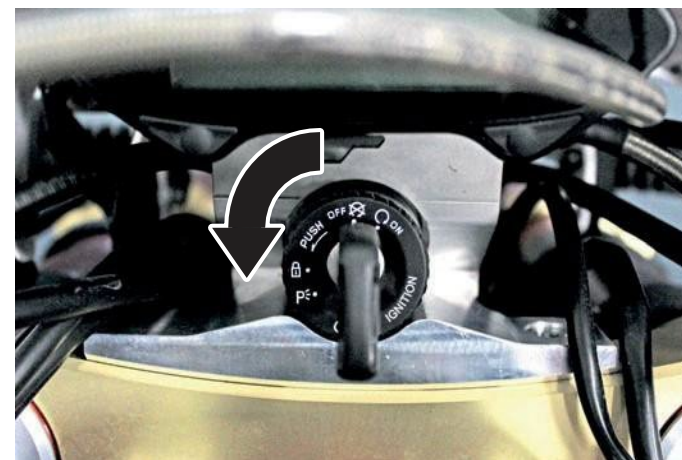


これらの操作を行ってからエンジンストップボタンを押し、キーを反時計方向に回してOFF位置にします。

 キーをOFF位置に回し忘れると、バッテリーの充電レベルが低下し、バッテリー交換が必要になります。

 車両の停止時は、クラッチを急に切らないでください。エンジンが停止したり、突然後輪走行（ウィリー）したりするおそれがあります。

 急停止や突然の減速をさけてください。



慣らし運転のルール

車両を使用する最初の数回は、各部パーツの動きを馴染ませる慣らし運転期間を設けることが不可欠です。車両が持つ本来の性能を発揮するためにも、慣らし運転期間中は一定のルールに従う必要があります。

 **車両のベストパフォーマンスは、慣らし運転後の初回点検を完了して初めて発揮することができます。**

以下のヒントは、ユーザーが適切な慣らし運転を行う際の指標となります。

エンジンおよび車両パーツに適切な負荷をかけることが重要です。その一方、負荷をかけ過ぎたり不足したりしないようにしてください。負荷のかけ過ぎ、不足、そのどちらの場合も車両のパフォーマンスに影響を及ぼします。急激な加速はせず、徐々に速度を上げてください。

 **フル加速は可能ですが、フルスピードで長距離走行を行わないでください。**

山道を走行する際は、エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷が掛かり過ぎないように注意してください。エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷がかかる時と負荷が少ないあるいは無負荷の時を周期的に繰り返すような、カーブや勾配の緩やかな道路が適しています。

新車購入時の新品のブレーキパッドは、ブレーキディスクとの摩擦が少なく本来の制動性能を発揮できません。慣らし運転を行い、ブレーキング時にブレーキパッドがディスクをしっかりと食いつくようにする必要があります。慣らし運転には、都市部の道路をおよそ200km走行する必要があります。

ブレーキの慣らし期間は、制動距離が長いことを考慮に入れ、ブレーキレバーをより強く握ることを意識してください。

 **急ブレーキや長時間のブレーキは避けてください。**

最初の1000kmの間に必要なメンテナンス作業を確認してください。

 **走行距離がおよそ1000kmに達したら、Fantic Motor 正規取り扱い店の「メンテナンステーブル」に記載されている項目を確認してください。確認およびこれらの作業を実行することで、車両の損傷や人的事故を防止します。**

 **これらのルールに従わなかった場合、エンジンや車両パーツに関して、その後に本来の性能を発揮できない可能性があります。**

服装

必ずヘルメットは着用してください。そのヘルメットも、車両が走行する国の認可を受けたもので、損傷が無く、バイザーに傷や汚れが無いものを着用してください。走行に適切な保護性能のあるウェアを着用し、走行時に邪魔になる可能性のあるアクセサリーや、転倒時に危険となる可能性がある尖った物は身に着けないでください。



これら全ての事柄は、同乗者にも適用されます。

盗難防止のヒント

イグニッションキーをオンにしたまま車両を離れないでください。駐車時は常にステアリングロックを使用してください。車両は、ガレージなど安全な場所に駐車してください。

駐車

駐車する場所は慎重に選んでください。道路標識や下記に説明する内容を順守することは非常に重要です。



車両を壁に立てかけたり、地面に横倒しにして駐車しないでください。駐車場所は安定していて水平であることを確認してください。



高温になる可能性のある部品（サイレンサー、エンジン、ラジエーター、ブレーキディスク等）が周囲の人々に危険を及ぼさないことを確認してください。



エンジンがかかった状態や、キーを挿した状態では決して車両から離れないでください。

輸送

車両を輸送する場合、フューエルタンクの燃料を完全に空にする必要があります。予期せぬ燃料漏れを防ぎ、それらパーツが完全に乾燥していることを確認してください。正常な作動状態でギアは1速に入れ、車両をしっかりと固定する必要があります。



故障時には牽引や安全性に問題のある処置を行わないでください。人および／または器物を危険にさらす可能性があります。事故を引き起こしたり、車両の損傷につながるおそれがあります。

サイレンサー

このパーツは、排気ガスの一酸化炭素を酸化して二酸化炭素に変換し、不燃の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を酸素と窒素に変換して窒素酸化物を削減する機能を担っています。

 車両の使用、エキゾーストシステムの触媒エレメントに対応する部分は鮮やかな赤色を帯びる場合があります。この色の変化は正常であり、触媒の正しい動作を示します。

 乾燥した茂木がある場所の近くでは、車両を停止したり駐車したりしないでください。子供および／

 または人々が近づく可能性のある場所は避けてください。

 サイレンサーは高温になるため、接触を避け、完全に温度が下がるまでは最大の注意を払ってください。

 エキゾーストシステムを改造、変更、改ざんすることは禁じられています。

 有鉛ガソリンは触媒にダメージを与えるため、使用しないでください。

エキゾーストシステムに穴や錆または損耗の兆候が無いか確認してください。エキゾーストシステムが常に正しく作動することを確認してください。

ノイズが大きくなったり異音が発生した場合は、できるだけ早くFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

 メンテナンス、修理、交換作業の際はFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

車両ID

車台番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

エンジン番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Fantic Motor の車両には、車台番号とエンジン番号が付与されています。車台番号が消えたり損傷した時のために、上欄に番号を記録しておくことをお勧めします。

 IDデータを変更しないでください。重大な罰則や行政処分を受けることがあります。さらに、車台番号が変更されずぐに判別できないと、新車の保証が無効になる場合があります。

車台番号

車台番号は右側のステアリングチューブに刻印されています。

 純正の交換部品を求める際は、この車台番号をディーラーにお知らせください。



エンジン番号

エンジン番号はクランクケースの左側に刻印されています。



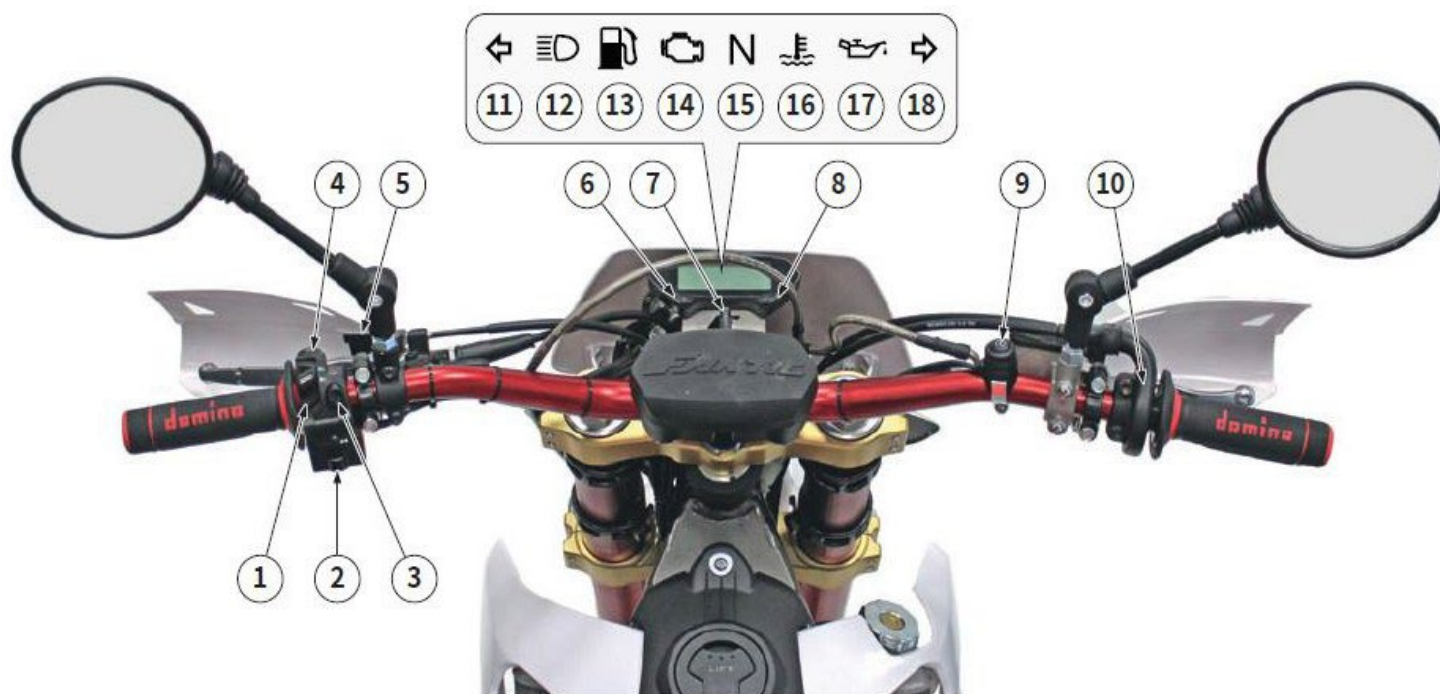
メインコントロール



1. ヘッドライト
2. 左フロントウインカー
3. ダッシュボード
4. クラッチレバー
5. 左ハンドルスイッチ
6. 左リアビューミラー
7. タンクキャップ
8. フューエルタンク
9. シート
10. テールライト
11. 左リアウインカー
12. ライセンスプレートホルダー
13. サイドスタンド
14. 左ライダーフットレスト
15. ギアシフトペダル
16. フロントブレーキキャリパー



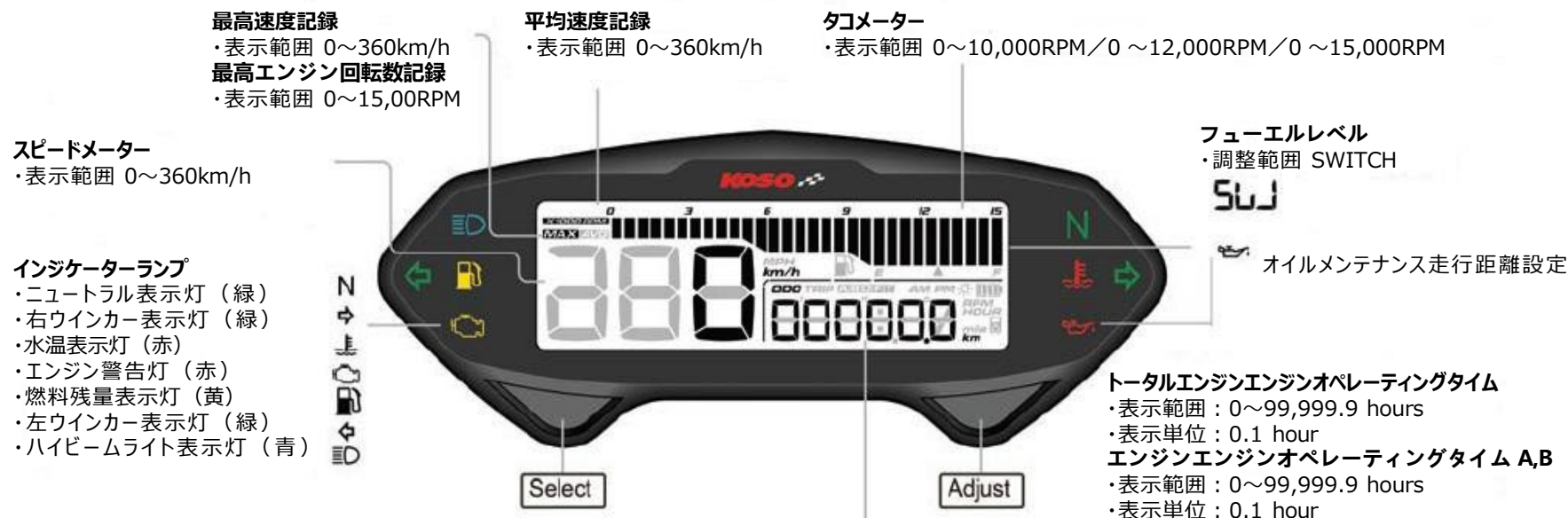
- 17. 右リアウインカー
- 18. スロットルグリップ
- 19. 右リアビューミラー
- 20. フロントブレーキレバー
- 21. 右フロントウインカー
- 22. ラジエターキャップ
- 23. ラジエター
- 24. エンジンオイルキャップ
- 25. リアブレーキペダル
- 26. 右ライダーフットレスト
- 27. リアブレーキマスターシリンダー
- 28. リアブレーキキャリパー



1. ロー／ハイビームライトスイッチ
2. ウィンカースイッチ
3. ホーンボタン
4. エンジンストップボタン
5. コールドスターター
6. ADJUSTボタン
7. イグニッションスイッチ
8. SELECTボタン
9. スタートボタン

10. スロットル
11. 左ウィンカー表示灯
12. ハイビームライト表示灯
13. 燃料残量表示灯
14. エンジン警告灯
15. ニュートラル表示灯
16. 水温表示灯
17. メンテナンスプログラム表示灯
18. 右ウィンカー表示灯

ダッシュボードの基本機能



オドメーター

- ・表示範囲：0~99,999.9 km
（超過すると0に戻る）
- ・表示単位：0.1 km

トリップメーター A・B

- ・表示範囲：0~99,999.9 hours
- ・表示単位：0.1 km

タコメーター

- ・表示範囲：0~15,000RPM
- ・表示単位：10 RPM

電圧計

- ・表示範囲：DC 8.0V~16V
- ・表示単位：0.1V

エンジンオイルメンテナンス走行距離設定

- ・表示範囲：SI unit
500（~8,000km 調整可能）~ -999km 走行距離の増加に応じて自動的に減少
- ・表示範囲：Inch
300（~5,000mile 調整可能）~ -999mile 走行距離の増加に応じて自動的に減少
- ・表示単位：1km（mile）

インターナルオドメーター

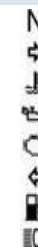
- ・表示範囲：0~99,999.9 km
（超過すると0に戻る）
- ・表示単位：0.1 km

エクスターナルオドメーター

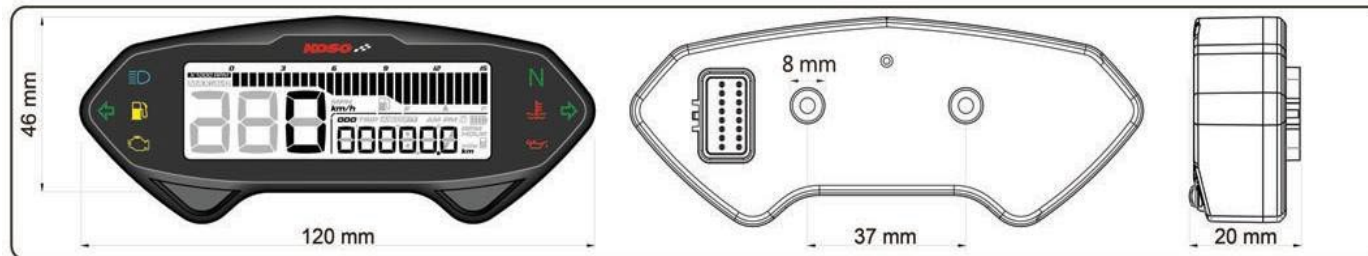
- ・表示範囲：0~99,999 km
（超過すると0に戻る）
- ・表示単位：1 km

機能、設定手順

●スピードメーター	表示範囲：0～360km/h 設定範囲を超えると点滅します 表示単：1 km	●トータルアワーメーター	表示範囲：0～99,999.9 hours 表示単位：0.1 hour
○内部表示	<0.5秒	○アワーメーター A B	表示範囲：0～9,999.9 hours 表示単位：0.1 hour
○オドメーター	表示範囲：0～99,999.9km/h 超過すると0に戻る 表示単位：0.1 km	●フューエルレベル	設定範囲：100Ω、250Ω、270Ω、510Ω、1200Ω SWITCH USER
○トリップメーター A B	表示範囲：0～999.9km/h 超過すると0に戻る 表示単位：0.1 km	○段階式燃料計	設定範囲：10 段階表示 警告範囲設定値以下（設定値含む）の燃料レベル段階になると燃料レベル記号が点滅します。 設定範囲：0～100 % 設定単位：10 %
●エンジンオイルメンテナンス 走行距離設定	表示範囲：SI unit 500（～8,000km 調整可能）～-999km 走行距離の増加に応じて自動的に減少 表示範囲：Inch 300（～5,000mile 調整可能）～-999mile 走行距離の増加に応じて自動的に減少 表示単位：1km（mile）	○デジタル燃料計	設定範囲：10～50 %、設定値以下（設定値含む）になると燃料レベル記号が点滅します 設定単位：10%
○最高速度記録	表示範囲 0～360km/h 表示単位：1km	●燃料残量警告	表示範囲：DC 8.0V～16.0V 表示単位：0.1V
○平均速度記録	記録範囲 0～360km/h	●インターナルオドメーター	表示範囲：0～99,999.9 km（調整不可） 表示単位：0.1 km
○タイヤ外径	調整範囲：300～2,500mm 調整単位：1mm	●エクスターナルオドメーター	表示範囲：0～99,999.9 km 表示単位：0.1 km
○検出ポイント	設定単位：1～20points 設定単位：1point	●バックライトカラー	表示範囲：白
●タコメーター	表示範囲：0～15,000RPM 表示単位：10RPM	●電圧	DC12V
○内部表示	<0.5秒	●温度範囲	-10～+60℃
○タコメーターステージ	表示範囲：0～10,000RPM 0～12,000RPM 0～15,000RPM 表示単位：0～10,000RPM（333RPM各ステージ） 0～12,000RPM（400RPM各ステージ） 0～15,000RPM（500RPM各ステージ）	●メーター基準	JIS D 0203（S2）
○最高エンジン回転数記録	表示範囲：0～15,00RPM 表示単位：10RPM	●メーターサイズ	120 x 46 x 20 mm
○RPM入力信号設定	設定単位：P-0.5／P-1～P-25	●メーター重量	約240g
○RPM入力パルス	設定単位：Lo-Act／Hi-Act	●インジケータランプ	ニュートラル表示灯（緑） 右ウインカー表示灯（緑） 水温表示灯（赤） オイルメンテナンス設定 エンジン警告灯（黄） 左ウインカー表示灯（緑） 燃料残量表示灯（黄） ハイビームライト表示灯（青）



メーターサイズ



Selectボタンの操作方法



- ・時計表示画面で**Selectボタン**を1度押すと電圧が表示されます
- ・**Selectボタン**を3秒長押しすると、エンジン回転数と燃料レベルバーの表示が、切り替わります



- ・電圧表示画面で**Selectボタン**を1度押すと、燃料計が表示されます



- ・燃料計表示画面で**Selectボタン**を1度押すと、時計表示画面に戻ります

Adjustボタンの操作方法



設定画面



セッティングメニューと設定方法



・**Selectボタン**と**Adjustボタン**を**3秒長押し**して設定画面を表示します

・設定画面

1. タイヤ外径と検出ポイント
2. RPM入力信号設定
4. バックライト調整
5. エンジンオイルメンテナンス走行距離設定
6. 速度表示単位設定
7. エクスターナルODO
9. インターナルODO

タイヤ外径と検出ポイント設定



- ・ **Selectボタン**を押してタイヤ外径と検出ポイント設定画面を表示します

⚠ 注意!

- ・ タイヤ外径とセンサー検出ポイントを確認します（磁気センサーはディスクローターもしくはスプロケットボルトに装備されています）
- ・ メーターに表示される値はこの設定の影響を受けます。設定値が正しいことを確認してください

- ⚠ 異なるサイズのタイヤを取り付けた場合、設定値をリセットする必要があります。



- ・ **Selectボタン**を押して設定画面を選択します

- ・ 設定例：
現在の表示はタイヤ外径1,000mmに設定されていることを示しています

- ⚠ 設定を識別する数値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：300～2,500mm
調整単位：1mm



- ・ 値を変更するには**Adjustボタン**を押します



- ・ **Selectボタン**を押して測定値を入力します

- ・ 設定例：
設定値が1,000mmから、1,300mmに変更されました



- ・ **Adjustボタン**を押して正しい数値を選択します

- ・ 設定例：
現在の表示はセンサー値が1で設定されていることを示しています

- ⚠ 設定を識別する数値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：1～20



- ・ **Selectボタン**を押すとタイヤ外径設定画面に戻ります

- ・ 設定例：
センサー値が1 Pから6 Pに変更されました



- ・ **Adjustボタン**を押すと次の設定画面に移ります

- ・ 設定例：
センサー値が1 Pから6 Pに変更されました

エンジン回転数入力信号設定



- **Selectボタン**を押してRPMパルス設定画面を表示します



- **Adjustボタン**を押して正しい数値を選択します

⚠ 設定を識別する数値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：P-0.5/P-1~P-25

The setting value	The corresponding stroke and pistons number	The corresponding RPM signal number per ignition
0.5	4C-1P	2 RPM signals per 1 ignition.
1	2C-1P 4C-2P	1 RPM signal per 1 ignition.
2	2C-2P 4C-4P	1 RPM signal per 2 ignition.
3	2C-3P 4C-6P	1 RPM signal per 3 ignition.
4	2C-4P 4C-8P	1 RPM signal per 4 ignition.
5	4C-10P	1 RPM signal per 5 ignition.
6	2C-6P 4C-12P	1 RPM signal per 6 ignition.



注意!

単気筒4サイクルエンジンのほとんどはクランクが360度ごとに1度点火します。これは単気筒2サイクルエンジンと同じ設定になります



- RPMパルスをP-1~P-13に設定します
- **Selectボタン**を押して波形設定画面を表示します



- **Adjustボタン**を押して正しい値を選択します (Hi-ActもしくはLo-Act)

⚠ 設定を識別する値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：Hi-Act/Lo-Act

NOTE 回転数 (RPM) が不正確あるいは正しく表示されていない場合、別の設定を選択してください。



- 設定例：
現在の表示はHi-Actで設定されていることを示しています

- **Selectボタン**を押してRPMステージ設定画面を表示します



- **Selectボタン**を押して変更する値を選択します
- 設定例：
現在の表示は15,000RPMで設定されていることを示しています

⚠ 設定を識別する値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：10,000/12,000/15,000RPM



- **Adjustボタン**を押して正しい数値を選択します



- **Selectボタン**を押すとRPMステージ設定画面に戻ります



- **Adjustボタン**を押すと次の設定画面に移ります

燃料計設定



注意!

燃料計抵抗値

燃料レベルマニュアル設定

燃料レベル自動検出

燃料残警告設定

燃料に関する全ての機能は無効になっています

燃料レベル設定値：SWITCH

SWJ

バックライト輝度設定



エンジンオイルメンテナンス設定



- ・ **Selectボタン**を押してオイルメンテナンス設定画面を表示します



- ・ **Adjustボタン**を押して選択画面を表示します

⚠ 設定を識別する値は、変更操作中に点滅します

NOTE 調整範囲：2T / 4T



- ・ **Selectボタン**を押して4 Tを選択します



- ・ メンテナンス走行距離を設定します
- ・ **Selectボタン**を押して選択画面を表示します

⚠ 設定を識別する値は、変更操作中に点滅します



- ・ **Adjustボタン**を押して正しい数値を選択します



- ・ **Selectボタン**を押すとオイルメンテナンス設定画面に戻ります



- ・ **Adjustボタン**を押すと次の設定画面に移ります

速度表示単位設定



- ・ **Selectボタン**を押してスピードメーター設定画面を表示します



- ・ **Adjustボタン**を押してkm/hを選択します

NOTE 調整範囲：km/h / MPH



- ・ **Selectボタン**を押すとスピードユニット(単位)設定画面に戻ります
調整範囲：km/h / MPH



- ・ **Adjustボタン**を押すと次の設定画面に移ります

外部オドメーター



- ・ **Selectボタン**を押して外部オドメーター設定画面を表示します



- 例：総走行距離を12,500kmに設定する
Selectボタンを押して設定数値を選びます

! 設定を識別する数は、変更操作中に点滅します

NOTE 設定範囲/0~99,999km(mile)



- Adjustボタン**を押して設定数値を選びます



- ・ **Selectボタン**を押して外部オドメーター設定画面を表示します。
例：オドメーターを0~12,500kmに変更。



- ・ **Adjustボタン**を押すと次の設定画面に移ります

内部オドメーター



例：内蔵オドメーターが50,000km **Select ボタン**を3秒間押し続けるとオドメーター画面に戻ります

⚠ 内蔵オドメーターはリセットしたり調整することはできません

NOTE 設定範囲/99999,9km(mile)



・メインスクリーン

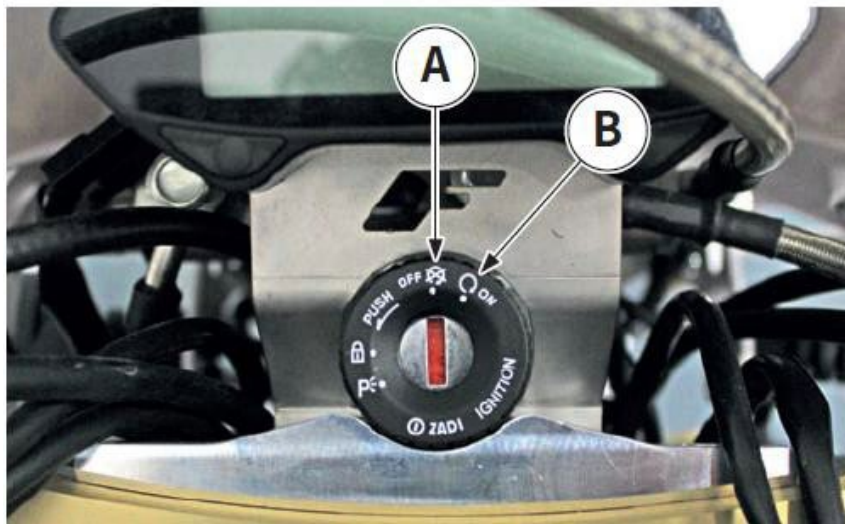
トラブルシューティング

下記の場合は、メーターの故障ではありません。修理に出す前に、下記の項目を点検・確認して下さい。

<トラブル>	<チェック項目>	<トラブル>	<チェック項目>
電源がオンになってもメーターが動かない。	・ワイヤーハーネス、カプラーを点検し、メーターに電源が供給されていることを確認してください。ワイヤーハーネス、フューズに問題がない場合、メーター起動に必要な電力（8V）が不足していないか確認してください。	タコメーターが表示されない、または誤って表示される。	・RPMセンサーの配線が正しく接続されているか確認してください。
メーターが間違った情報を表示する。	・バッテリー電圧を確認し、電圧が8V以上であることを確認してください。	燃料ゲージが表示されない、または誤って表示される。	・スパークプラグがRタイプかどうか確認し、もし違っていたらRタイプのものと交換してください。
スピードが表示されない、または誤って表示される。	・スピードセンサーが正しく接続されているか？スピードセンサーの接続は正しいか？センサーケーブルは断線したり緩んでいないか？		・エンジン回転数入力信号設定を確認してください。
オドメーターとトリップメーターが累積されない、または誤って累積される。	・タイヤ外径と検出ポイント設定を確認してください。		・ワイヤーハーネス、カプラー、タイヤ外径の設定を点検してください。
	・ワイヤーハーネス、カプラーを点検し、メーターに電源が供給されていることを確認してください。赤の+極ワイヤーハーネスが正しく接続されているか確認してください。		

イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチは車両の前部、右側のダッシュボードの近くにあります。イグニッションスイッチの機能は以下の通りです。



- A. 車両およびライトの電源はオフ / キーを抜き取ることができます。
- B. 車両およびライトの電源はオン / キーを抜き取るとはできません。

- ① 車両にはキーが2本付属しています。1本は予備キーですので、車両とは別の場所に保管してください。
- ① キーが“A”の場所にあるときはライトスイッチはオフになります。
- ① 車両のスイッチがオンになると、ライトスイッチは自動的にオンになります。

ステアリングロック

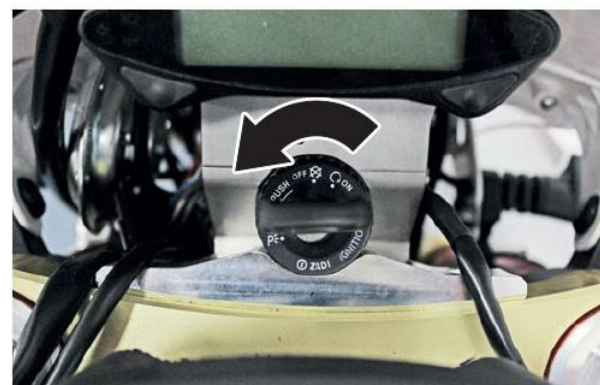
ハンドルバーをロック

スタンドを立ててからハンドルバーを完全に右側に切り、キーをステアリングロックの位置に押しながら回してロックします。



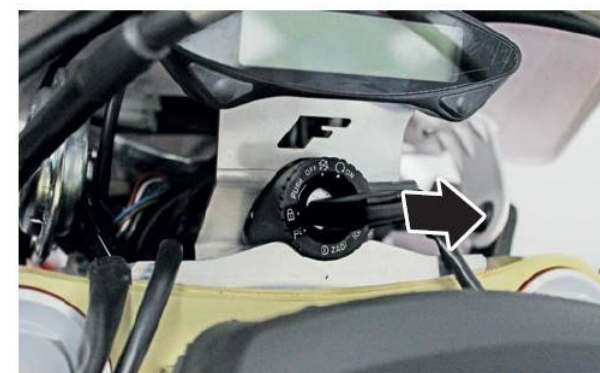
キーを押しながら、反時計回りに回してください。

 キーをステアリングロックの位置に差したまま、オートバイを走らせないでください。



キーを解除して引き抜きます。

 キーはイグニッションとステアリングロックの両方の役割りをします。



ホーンボタン

ボタンを押してホーンを鳴らします。



ターンシグナルスイッチ

スイッチを右または左に押して、方向指示を出します。スイッチを中央に戻すと、方向指示灯はオフになります。



ライト操作

スイッチを前に押すとヘッドライトはハイビームになります。
スイッチを押し戻すとロービームに戻ります。



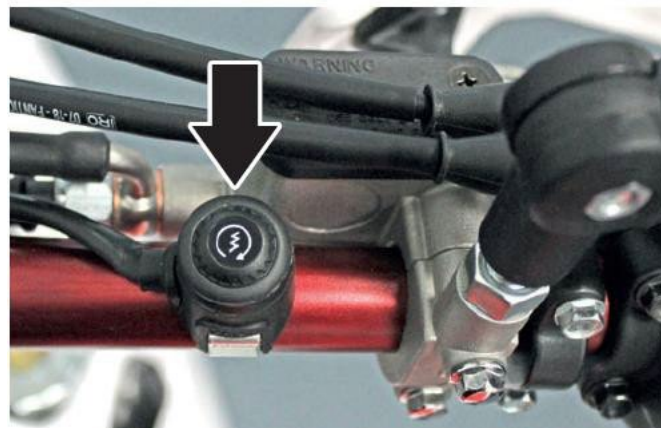
ハイビームフラッシュボタン

危険を知らせるときや緊急時に、ボタンを前に押しとヘッドライトがハイビームになります。



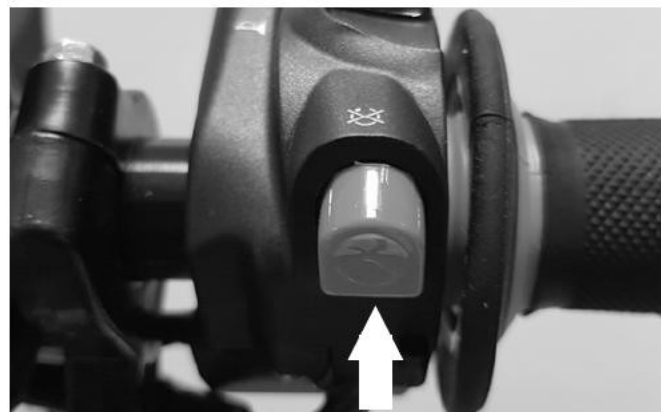
スタートボタン

ボタンを押すとエンジンが始動します。



エンジンストップボタン

このボタンを押すとエンジンが停止します。
安全、緊急時のための機能です。



エンジン停止されますので、走行中はスイッチを押さないでください。
車両のコントロールが失われ、事故につながる恐れがあります。

サドルオープン

Ⓐ のネジを回して外します。

サドルを持ち上げて外します。



 サドルを戻す前に、サドルの下にキーなどの置き忘れがないか良く確認してください。

 走行前に、サドルが正しく取り付けられているか確認してください。



給油

保護カバーを開けます (1)．キーを差し込みます (2)．添加物や他の物質を燃料に加えないでください。じょうごや他のツールを使って燃料を入れる際は、汚れに注意してください。



給油時は火気厳禁です、タバコなどは絶対に吸わないでください。



電気機器の使用は、発火や点火を引き起こす恐れがあります。充分にご注意いただけない場合、火災や爆発を引き起こし、車両や人に深刻な怪我や影響を及ぼす危険性があります。



給油中に、添加物や他の物質を燃料に加えないでください。



給油中の燃料漏れを防ぐためにじょうごなどを利用する場合は、汚れなどに十分注意して使用してください。



このマニュアルではテクニカル仕様諸元に基づき、使用燃油タイプを指定しています。エンジンや燃油供給システムにダメージを与える恐れがありますので、仕様以外の燃料は使用しないでください。



反時計回りに回す。燃油タンクキャップを外す (3) 給油は“FULL”ラインを超えないようにしてください。

“FULL”ラインはタンクの上限から 20-25mm 下です。給油が完了したら、燃油タンクキャップを閉めてください。



タンクキャップが閉まっていることをよく確認してください。

車両の長期保管

車両を数か月間動かさない時は、いくつかの点にご注意ください。

- － 燃料を抜いて、タンクを空にしてください。
- － バッテリーを外し、2 週間毎に適正なチャージャーで充電してください。



バッテリーは、子供達が手の届く所には置かず、5-35℃(41-95°F)の乾燥した場所で保管してください。

- － 適正な支えを使用して車体をリフトアップさせてタイヤを地面から離し、タイヤの空気圧は定期的にチェックしてください。
- － チェーンの潤滑を行ってください。
- － エンジン内の湿潤を防ぐため、排気管の先端を袋などでしっかりと覆うようにしてください。
- － 車両を完全に覆うことのできる適正なサイズのシートカバー(通気性のある素材で)をかけて保管してください。
- － 車両は、直射日光を避け、高温多湿にならない場所で保管してください。

長期保管後

- － カバーを外し車両を洗います。
- － バッテリーの状態をチェックしてください。
- － 事前点検をしっかりと行ってください。



交通量の少ない場所で、スピードは控えめに、数キロほど試験運転を行ってください。

洗車

車両のコンポーネントを良好に保つためにも、定期的な洗車を行ってください。以下のようなコンディションの場合は、より頻繁に洗車を行ってください。

- － 通常より塩分や湿気の多い環境下。
- － 塩分や凍結防止剤などが使用されている場所。
- － 産業塵灰や、タールの付着した路面走行などが多い工業地帯。
- － オフロード走行。
- － 昆虫の死骸や、鳥の糞などの付着。

植物や樹木の下で、車両を止めたり駐輪させるのはあまりお勧めしません。植物または樹木の樹液や樹脂、果実や葉には色々な物質が含まれており、車両のコンポーネントやボディを傷つける恐れがあります。

直射日光下、特に夏の日差しの中での洗車は、洗剤が洗い流される前に乾いてしまいやすいため、塗装面に悪影響を及ぼす可能性がありますのでできるだけ避けましょう。

プラスチック・コンポーネント部分を洗うときは、40℃以上の液体を使用しないでください。



水の浸透を防ぐため、洗車の前にサドルをカバーなどで覆うことをお勧めします

高圧のエアースチーム、水は下記の部分には使用しないでください。

- － ホイールのハブ
- － ハンドルバースイッチ
- － ベアリング
- － ブレーキオイルマスターシリンダー、リザーバータンク
- － 工具、インジケーター
- － エキゾーストシステム（排気出口）
- － ステアリングロック
- － 燃油タンクキャップおよび周辺
- － ヘッドライト、テールライト
- － 電装関連
- － デカール



アルコールやガソリン等の有機溶剤を、サドル、ゴムやプラスチックなどのパーツに使用しないでください。
不適切な製品は、車両のコンポーネントにダメージを与えるおそれがあります。

高圧洗浄水はコンポーネントにダメージを与える恐れがあります。汚れの酷い箇所を洗浄する際は、低圧の温水で優しく洗ってください。

柔らかいスポンジを使用し、低圧の洗浄水ですすいでください。

セーム革のクロスなどでボディの水分を拭き取ります。洗車後はブレーキの効きが低下する傾向にありますので、ディスクを良く拭き上げてから乾燥するまで、少しの間待つことをお勧めします。

車両を走らせた後、何度か繰り返しブレーキを使用し注意しながら走行してください。入念に洗車をした後は、シリコンワックスで磨いても良いでしょう。



塗装面を傷つける恐れがありますので、研磨剤は使用しないでください。



ブレーキシステムの周辺にワックスなどを使用しないでください。
ブレーキの性能を著しく低下させます。



滑りやすくなり、ライダーや同乗者の安定性が低下し、事故につながる恐れがありますので、サドルにワックスはかけないでください。

はじめに

より詳しいメンテナンスや修理については、FANTIC MOTOR 正規販売店にお尋ねください。純正スペアパーツによる、迅速で正確な対応を常時お約束いたします。

慣らし運転が終わり次第、初回点検をお受けいただくことをお勧めします。



これらの手順を怠ると、重篤な怪我や事故につながる恐れがありますので、故障や異常が見つかったらただちに、FANTIC MOTOR 正規販売店にご連絡ください。

初回点検

パート	説明
フロント／リア・ディスクブレーキ	レバーの操作確認、アイドルストローク、液レベルと漏れ点検。 必要に応じてブレーキ液補充。
スロットルコントロール	ノブの回転はスムーズか、両方向からのフルードの状態は妨害（動かしにくさ）などないか。
エンジンオイル	オイルレベルの確認、必要に応じて補充。
ホイール、タイヤ	タイヤ表面の状態、空気圧、劣化やダメージはないか確認。 異物があれば取り除く。
ブレーキレバー	ブレーキを握ったり離したりしながら、妨害（動かしにくさ）や分断、滑りがないか確認。 必要に応じてジョイント部分等に潤滑する。
クラッチレバー	クラッチを握ったり離したりしながら、妨害（動かしにくさ）や分断、滑りがないか確認。 必要に応じて取付け部分等を潤滑する。

パート	説明
ハンドルバー	余計な遊びや緩みがなく、左右同じように自由に動くか確認。
キックスタンド（サイドスタンド）	動き（回転やスライド）を確認。バネの張りや収納位置への戻り具合を確認。 必要に応じて取付け部を潤滑する。 安全スイッチが正しく機能しているか確認。
締結部	緩みがないか確認。必要に応じて調整、締め付けする。
燃料タンク	燃料レベルを確認し、必要に応じて給油する。 燃油タンクキャップが正しく閉まっているか、そして燃油システムからの漏れはないか確認する。
スタートスイッチ	正しく機能しているか確認する。
ホーン、ターンシグナル	正しく機能しているか確認し、故障があれば交換する

⚠ 走行1,000 km (600 mi)毎にエンジンオイルレベルを点検・確認してください。

エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルは定期的に点検してください。

ⓘ エンジンが温まっているときに点検を行ってください。

⚠ エンジンオイル点検のときは、サイドスタンドを立てて行わないでください。

タイヤを地面に安定させて車両を垂直に設置します。

エンジンを始動し、最低でも2分間アイドリングを行ってウォームアップさせてから、エンジンを停止します。2分ほどおいてから、オイルレベルを点検してください。

点検窓からオイルレベルを確認します。

オイルレベルは点検窓の2本の刻み目の間になければいけません。

H=上限

L=下限

ⓘ エンジンへのダメージを防ぐためにも、オイルレベルは“H”より高くなっていたり、“L”より低くなっていたりしないように注意してください。



エンジンオイルの補充

エンジンオイルレベルの不足が確認されたら、オイルプラグを取り外して必要量を補充してください。



① オイル補充にじょうごや他の道具を使う場合は、汚れなどがいないか厳重に注意してご使用ください。

⚠ オイルには、添加物や他の物質を加えないでください。
また、必ず諸元記載の推奨オイルまたは同等のものをご使用ください。

エンジンオイルの交換

⚠ フィルターやエンジンオイルの交換は、経験の浅いうちは非常に複雑な作業になりますので、
FANTIC MOTOR 正規販売店に依頼して交換を行うことをお勧めします。

エンジンオイル量

- －総容量: 1.8L (0.4 UK gal, 0.48 US gal)
- －フィルター交換なし: 1.15L (0.25 UK gal, 0.3 US gal)
- －フィルター交換あり: 1.2L (0.26 UK gal, 0.32 US gal)

タイヤ

タイヤ空気圧値、ブランド、サイズに関しては、「テクニカル・データ」の章をご参照ください。



タイヤが温まった状態では正確な空気圧が測れません。タイヤの空気圧は室温で測定してください。



タイヤ周囲の温度とは、走行距離 2 km 以下で、停止してから最低 3 時間経過したときの温度を指します。



長距離走行の前と後に、燃費とタイヤ空気圧（室温で）を点検してください。

-  空気圧が高すぎる場合、不規則な路面だとタイヤは路面からの衝撃を吸収できずにダイレクトにハンドルに伝わってくるため操作性に影響を及ぼし、さらにカーブでは著しいグリップ力の低下を招きます。
対して低すぎる場合、グリップ力が高まる半面、路面の状況や急ブレーキなどにより横滑りを起こしやすくなる可能性があります。
-  計測機器の違いによって測定値が異なり、正しい空気圧が測れないことを防ぐために、可能であればできるだけいつも同じゲージで測定することをお勧めします。
-  表面の状態や劣化の点検をしましょう。条件の悪いタイヤはグリップ力や機動性を落とします。
パンクや亀裂を発見したらすぐに取り換えましょう。修理や交換をした後は、ホイールバランスを取ってください。
メーカーが推奨するサイズのタイヤのみを使用しましょう。指定されているタイヤ以外を使用するとハンドルの操作性や車両の安定性を欠き、大きな事故が起きる恐れがあるばかりか、重篤な障害を負う可能性や死亡事故につながることもあります。
-  突然の空気漏れを防ぐためにも、空気圧バルブはいつもキャップでしっかりとカバーされているか確認してください。
-  新しいタイヤは滑りやすい皮膜に覆われています。最初の数キロは十分気を付けながら走行してください。
タイヤに不適切な液体を塗布しないでください。タイヤが古い場合、亀裂などが入っていてもゴムが硬化してグリップ力が弱くなっています。そのような場合は速やかに交換しましょう。

交換や修理などメンテナンスは非常に重要です。適切なツールと、十分経験のある人材によって行うようにしましょう。

FANTIC MOTOR 正規販売店ではスペシャリストがお待ちしておりますので、ぜひお問合せください。



タイヤそのものにはチューブはありません、インナーチューブとともにスポークホイールに装着されています。インナーチューブのない状態での使用は避けてください。

トレッド深度

最大トレッド値:

ーフロントタイヤ: 12 mm (0.47 in);

ーリアタイヤ: 12 mm (0.47 in).



トレッド深度は、1 mm (0.03 in) 以下または、車両を使用する国の規定より浅い状態で走行してはいけません。

スパークプラグ



Meiryo UIスパークプラグの点検や清掃、交換は、FANTIC MOTOR 正規販売店までお問合せください。

エアフィルター



クリーニングのいないタイプのエアフィルターですが、交換は必要です

メンテナンスの実施については、“メンテナンススケジュール表”の章の“エアフィルター”を参照してください。



エアフィルターの分解や点検、清掃や交換は、FANTIC MOTOR 正規販売店までお問合せください。

冷却水



クーラント液が下限より下がっていたら、車両を使用しないでください。



クーラント液の交換や点検、補充などは、FANTIC MOTOR 正規販売店にお問合せください。

ブレーキシステム

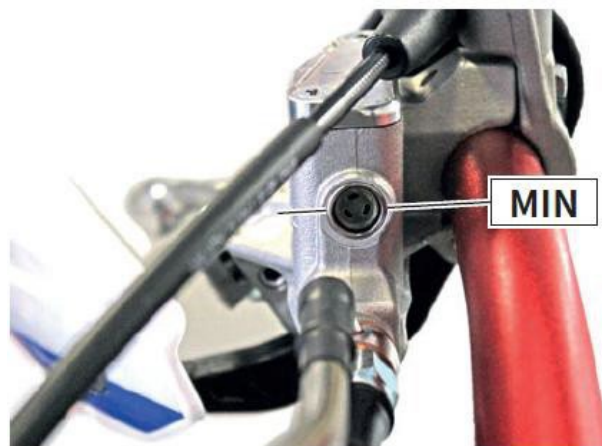
フロントブレーキ液レベルの点検

サイドスタンドを出し車両を安定させます。

ハンドルバーを動かし、ブレーキオイルリザーバータンクが水平になるようにしてブレーキ液レベルを点検します。ブレーキ液が“MIN”マークより下にならないことを確認してください。



ブレーキ液レベルが“MIN”マークに達していないときは、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとパッドの交換が必要な場合は、FANTIC MOTOR 正規販売店にて点検・交換を行ってください。

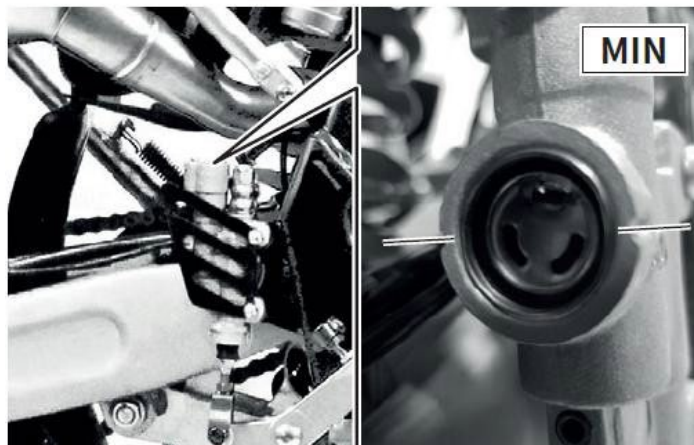


リアブレーキ液レベルの点検

車両を水平に置き、ブレーキオイルリザーバートankが水平になるようにしてブレーキ液レベルを点検します。ブレーキ液が“MIN”マークより下にないことを確認してください。



ブレーキ液レベルが“MIN”マークに達していないときは、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとパッドの交換が必要な場合は、FANTIC MOTOR 正規販売店にて点検・交換を行ってください。



ブレーキ液の補充

ブレーキ液の補充は、FANTIC MOTOR 正規販売店にて行ってください。

フロントブレーキレバーの調整

- アジャスター（1）を使用して、フロントブレーキレバーの位置をお好みに調整します。
- アジャスター（1）を時計回りに回すと、レバーとグリップの距離が近くなります。
- アジャスター（1）を反時計回りに回すと、レバーとグリップの距離が遠くなります。



ブレーキパッドの摩耗点検

① 長距離走行の前と後に、ブレーキパッドの摩耗の点検を行うのが理想です。

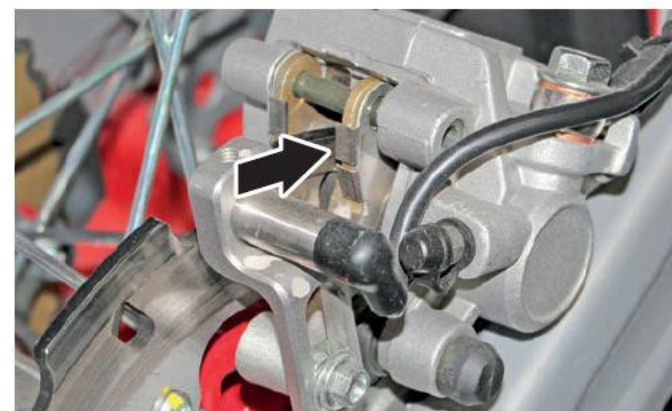
ブレーキパッドには溝があり、常に溝が見えている状態でなければいけません。摩耗の状態は、運転の仕方や路面の状況によっても変わってきます。

ブレーキパッドの摩耗を点検するときは、車両をスタンドで支えて行いましょう。

目視でディスクとパッドの間を確認します。

下から上方のフロントブレーキキャリパーのホイールピンの方向を見ます。リ

アブレーキキャリパーは上から見てください。



⚠ ブレーキパッドの摩耗し限界を超えると、ブレーキパッドの金属面がブレーキディスクに接触し、ブレーキシステムから金属音や火花が発生するようになります。結果的にブレーキの効果や安全性、ブレーキディスクの性能に大きな影響を及ぼします。

ブレーキパッドの溝が無くなってきたら (1.5 mm) できるだけ早い交換をお勧めします。

フォークリバウンドダンピングの調整



**アジャスターを最小・最大設定値を超えて無理に回さないでください。
装置が破損する恐れがあります。**

- フォークのリバウンドダンピング力を調整するには、アジャスター (1) を回します。
- 調整幅は10クリックです。
- リバウンドダンピング力を強める (戻りを遅くする) には、「H」の文字の方向に時計回りに回します。
- リバウンドダンピング力を弱める (戻りを速くする) には、「S」の文字の方向に反時計回りに回します。



フォークスプリングプリロードの調整



**アジャスターを最小・最大設定値を超えて無理に回さないでください。
装置が破損する恐れがあります。**

- スプリングプリロードを調整するには、アジャスター (2) を回します。
- 調整幅は5mm (0.19インチ) です。
- 「H」の文字の方向への時計回りの回転はスプリングプリロードを増加させ、「S」の文字の方向への反時計回りの回転は減少させます。
- スプリングプリロードの調整は、リバウンドダンピングの調整には影響しません。
- ただし原則として、スプリングプリロードを増やすほど、より強いリバウンドダンピングを設定する必要があります。



サスペンション

フロントサスペンション

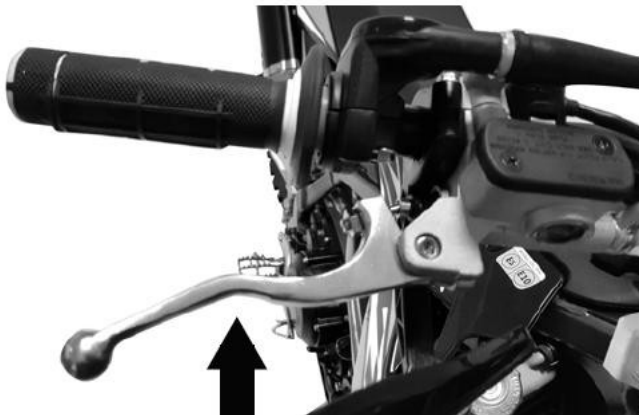
i フロントサスペンションオイルの交換は、FANTIC MOTOR 正規販売店にて行ってください。

メンテナンスの手順は、“メンテナンススケジュール表”の章、“フォーク”を参照してください。

点検

フロントブレーキを握りながら、ハンドルバーを数回押し下げてフォークに下方の圧力をかけます。ストロークが穏やかで、ロッドからのオイル漏れなどがないか点検します。

フロントサスペンションの部品等がしっかり取り付けられているか確認しましょう。



! 故障や不具合が見つかった場合は、FANTIC MOTOR 正規販売店にて修理・交換を行ってください。

調整

60 このサスペンションの基本的な設定や調整はFANTIC MOTOR が行っているのので、調整は必要ありません。

リアサスペンション

メンテナンスの周期については、“メンテナンススケジュール表”の章、“リアショックアブソーバー”を参照してください。サスペンションには、ダンパーとリンケージ（リンク装置）ユニットが組み込まれており、ショックアブソーバーの上部とスイングアームにつながる下部（リンケージ）に結合されています。

ショックアブソーバーのプリロード調整

異なるニーズに合わせて、設定を変える（カスタマイズする）ことができます。

作業を行う時は、エンジンが完全に冷えてから行ってください。

車両の使用状況に合わせて、スプリングプリロードを調整します。



- － ロックリングナット（２）を緩める
- － フックレンチまたはアルミニウムポンチで、調整リング（１）を回して好みの場所に合わせます。
- － 再びロックリングナット（２）をしっかり締めます。



ダメージを避けるために、無理やり回したり限界（両方向）を超えないようにしてください。

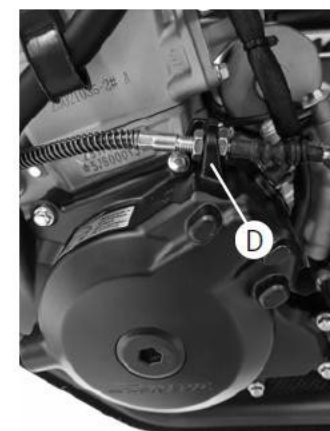
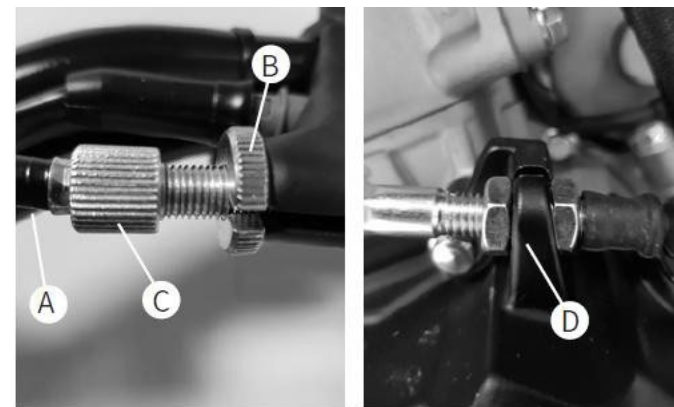


基本セッティングは、FANTIC MOTOR によって設定済みです。

クラッチレバーを握っていてもエンジンが停止したり、ギアが入った状態で車両が前進する傾向がある場合、またはクラッチがスリップしてアクセル操作に対してエンジン回転に遅れが発生する時はクラッチの調整を行います。

調整の方法

- ー 保護カバー“ A ”を外す。
- ー リングナット “ B ”を緩める。
- ー ハンドルバーをまっすぐにした状態で、クラッチレバーのアイドルリングストロークが2mmにならないように、アジャスター “ C ”を回します。
- ー リングナット “ B ” をしっかり締め、アジャスター “ C ” を安定させる。
- ー 保護カバー “ A ” をもとの位置に戻す。
- ー アジャスター “ C ” のストロークにクリアランスが不十分なときは、クランクケースにあるクラッチアジャスター “ D ” で調整を行ってください。



 クラッチケーブルの長さは十分か、ケーブルカバーにひびや亀裂、裂け目や劣化がないか点検し、そのうちの一つでも該当するものがあれば、FANTIC MOTOR 正規販売店にてクラッチケーブル交換を行ってください

 調整を行っても、必要なクリアランスが確保できない場合は、FANTIC MOTOR 正規販売店にお問合せください。

チェーン

この車両には連結環状のチェーンが装備されています。

チェーン、前後スプロケットの摩耗を点検し、以下の症状が無いか確認します。

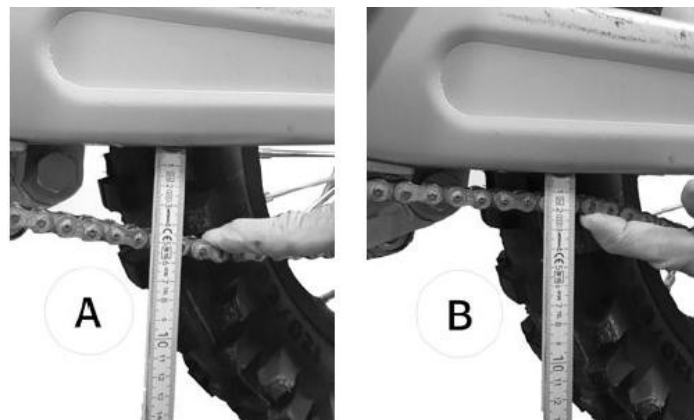
- －ローラーの摩耗
- －ピンの緩み
- －乾燥、錆、潰れや噛み込み
- －シールリングの紛失
- －前後スプロケットの歯の過度な摩耗や破損摩耗やダメージ



-  どれか一つのコンポーネントに損傷があった場合、チェーンアッセンブリー（チェーン、前後スプロケット）を交換する必要があります。
-  チェーンガイドおよび、スライドシューの摩耗についても点検を行ってください。
-  チェーンが緩みすぎるとスプロケットから外れ、事故や車両の重大な損傷を引き起こす可能性があります。定期的にクリアランスを点検してください。チェーンの交換については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。
-  不適切なメンテナンスはチェーンの劣化を早めたり、前後スプロケットの早期破損につながります。

チェーンの遊び点検

- － エンジンを停止する
- － スタンドを立てて車両を安定させる
- － ギヤをニュートラルに入れる
- － 前後スプロケットの中間点の下側のチェーンを、最初は下側に、次に上側に押し、スイングアームとチェーンの距離を測定します。最大値“A”と、最低値“B”の差が約35mm (1,37 in) であることを確認してください。
- － 車両を前に動かして、チェーンの垂直変動も別の個所でも確認します。遊びは、ホイールを回転させたどの位置でも一定である必要があります。



⚠ 特定の位置でクリアランスが大きい場合、ブッシュが潰れたり固着している箇所があります。この場合は、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。チェーンの固着を防ぐため、正しくチェーンを潤滑してください。

潤滑と清掃

チェーンは常に適切に潤滑され、綺麗に保つことが大切です。特にオフロード走行の後には丁寧にメンテナンスしましょう。乾燥や錆ついた部分、潰れや噛みこみなどがあれば、潤滑や交換をしましょう。もしメンテナンス作業が難しい時は、FANTIC MOTOR 正規販売店にお問合せください。

⚠ チェーンは、高圧水流や可燃性の高い有機溶剤などで洗淨しないでください。

バッテリー

バッテリー“A”はシートの下にあります。

メンテナンスフリーバッテリーですので、電解液レベルのチェックや補充の要はありません。



電極の部分はできるだけきれいに保ちましょう。

必要に応じて非酸性のグリースを薄く塗布してください。



バッテリーの取り外し方

シートを外し、マイナス極を外します。次にプラス極を外して、バッテリーを取り外します。

バッテリーを取り付けるときは、極性に注意して設置し、プラス極からつないで最後にマイナス極をつなぎます。



電解液（希硫酸）の漏れを見つけた時は最大限に注意してください。

火花や炎からバッテリーを遠ざけてください。

外したバッテリーは子供の手が届く場所には置かず、決められたルールに従って廃棄処分してください。

保護カバーは外さずに、極性を正しく守って取り付けてください。

クランプ部にはワセリンを塗布するなどして、バッテリーを守るようにしてください。

ヒューズとリレー

イグニッションスイッチを “OFF” にし、回路がショートしないようにしてからヒューズの点検をします。シートとヒューズボックスカバーを外します。

一つずつヒューズを外して、フィラメントが断線していないか点検します。断線していたら、同じアンペアのヒューズと交換してください。



ヒューズは修理しないでください。また、異なるタイプのヒューズは絶対に使用しないでください。指定以外のものを使用すると、回路がショートしたり、火災を起こす原因になります。

ヒューズの配置

A : メインヒューズ (30A)

B : スペアヒューズ (30A)

1 : CDIヒューズ (直接供給) (15A)

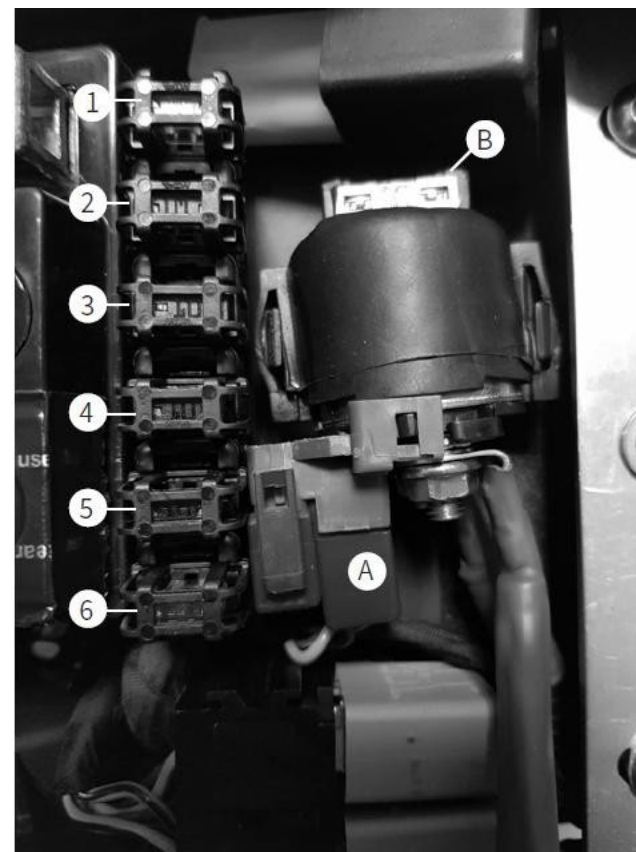
2 : クーリングファンヒューズ (10A)

3 : 燃料ポンプ、インジェクション、OBDヒューズ (10A)

4 : キースイッチヒューズ (10A)

5 : パーキングライトヒューズ (10A)

6 : ヘッドライト、テールライトヒューズ (15A)



ライトとターンシグナル

 ヘッドライトやテールライト、ライセンスプレートライト等を分解、点検、交換する際は、**FANTIC MOTOR 正規販売店にご相談ください。**

ヘッドライトの調整

地面の平らな場所で、車両を垂直な壁から10mの位置に置き、フロントライトビームの方向点検を行います。ロービームにして車両に座り、ライトビームが車両と水平の位置より若干低い位置を照らしているか確認します。（約9割くらいの高さ位置）

ライトビームの垂直方向の調整は、車両両サイドのネジ“A”を緩めて手動で調整します。再びネジ“A”を締めてライトビームの方向を確認してください。

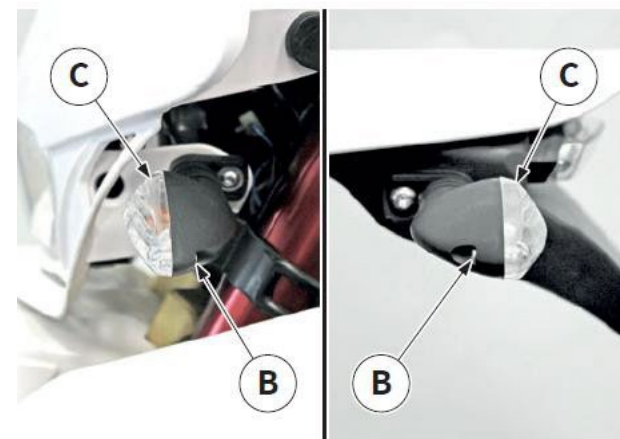


ターンシグナル

フロント、リアのターンシグナルランプを交換するときは、車両をスタンドで立てて行ってください。ネジ“B”を緩めて外し、カバー“C”を取り除きます。反時計回りに、優しくバルブを押し回して引き抜いてください。同じタイプの新しいバルブを正しく取り付けます。

 内部の反射板がズレたり外れたときは、正しくもとの位置に戻してください。ライトが正しく

 取り付けられているか、必ず確認してください。

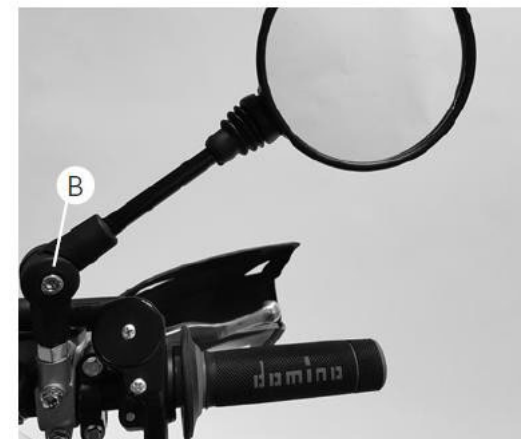


リアビューミラー

 以下に記載されている説明は、両方のリアビューミラーに適用されます。

平らな路面に車両をスタンドで立てます。ロックナット “A” を緩め、左のミラーを反時計回りに回して外します。同様に右のミラーも反時計回りに回して外します。

 取り付ける時は、ナットを締め付ける前にサポートロッドとハンドルバーが揃っているか調整しながら行ってください。



リアビューミラーの調整

リアビューミラーを調整する時は、実際に車両にまたがって運転姿勢をとってから、ご自分に合わせて調整を行ってください。サポートロッドの調整もまた必要です。ネジ “B” を緩めてサポートロッドをスライドさせながら調整作業を行ってください。再び、ネジ “B” を締めて固定します。

メンテナンスには特定の設備や道具の用意、または適正な技術が必要ですが、専門知識のある方でしたらいくつかのメンテナンスは自身で行えるでしょう。

 専門道具や作業服、プロテクターや安全に作業を行える場所がない場合は、ご自身でのメンテナンスはお勧めしません。
また、また技術的なアドバイスが必要な時はFANTIC MOTOR 正規販売店にお問合せください。

 FANTIC MOTORでは、お客様ご自身で行ったメンテナンス作業による車両や人、所有物へのダメージについては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

 お客様ご自身で、頻繁にメンテナンス作業をされない場合は、FANTIC MOTOR 正規販売店にお任せください

 雨天時、埃っぽい地域、荒れた道路や高速走行が多い場合は、より頻繁にメンテナンスを行ってください。

 1,000km走行毎に、エンジンオイルレベルの点検を行ってください

 走行距離が1000kmに達していなくても、初回点検、一年点検は必要です。

 点検スケジュールに指定された期限になっていなくても、2年目点検は行ってください。

 保証を適用するには、所定の点検とサービスを適時に実施する必要があります。
(初回は初年度以内に、2年目点検は2年目以内に)

 毎年の定期点検は、走行距離に関係なく定められた期限で行ってください。

項目	作業	1,000km (600mi)	5,000km (3,000mi)	10,000km (6,000mi)	15,000km (9,000mi)	20,000km (12,000mi)
燃料経路	－ 燃料パイプに亀裂や 損傷がないか		✓		✓	
スパークプラグ	－ 状態確認 － 清掃と電極のギャップ調整	✓	✓	✓	✓	✓
	－ 交換			✓		
バルブ	－ バルブクリアランスを点検 － 調整	✓	✓	✓	✓	✓
エアフィルター	－ 清掃	✓		✓		
	－ 交換		✓		✓	
クラッチ	－ 動作点検 － 調整	✓	✓		✓	
フロント ブレーキ	－ 動作点検 － レベルと漏れ点検	✓	✓		✓	
	－ ブレーキパッド交換	摩耗限界を超えた場合				
リアブレーキ	－ 動作点検 － レベルと漏れ点検	✓	✓		✓	
	－ ブレーキパッド交換	摩耗限界を超えた場合				

項目	作業	1.000 km (600 mi)	5.000 km (3.000 mi)	10.000 km (6.000 mi)	15.000 km (9.000 mi)	20.000 km (12.000 mi)
ブレーキホース	– 亀裂や損傷がないか点検 – 取り付けと締め付けが適切か確認		✓		✓	
	– 交換	4 年毎				
ブレーキフルード	– 交換	2 年毎				
ホイール	– ズレや損傷がないか確認		✓		✓	
タイヤ	– 溝の深度と損傷を確認 – 必要に応じて交換 – 空気圧の確認 – 必要に応じて空気圧調整		✓		✓	
ホイール ベアリング	– 緩みや損傷がないか確認		✓		✓	
スイングアーム	– 動作点検 – クリアランスの確認		✓		✓	
	– リチウム系グリースで潤滑	走行24.000 km (14.000 mi)毎				



保証を継続するために、定期保守作業はメンテナンステーブルに沿って確認、実行されなければなりません。

項目	作業	1.000km (600mi)	5.000km (3.000mi)	10.000km (6.000mi)	15.000km (9.000mi)	20.000km (12.000mi)
トランス ミッション チェーン	－ 張りの点検、整列の状態 － 前後スプロケットの点検 － 調整や、指定の潤滑材で潤滑されているか	500 km毎、頻繁に走行した後				
	－ 交換	チェーンの伸びが 2 %を超えたとき				
ハンドバー ベアリング	－ ベアリングの遊びとハンドリング	✓	✓		✓	
	－ リチウム系グリースで潤滑	24.000 km毎				
フレームへ固定された部品	－ 全てのナット、ボルト、ネジが適切に締まっていることを確認する	✓	✓	✓	✓	✓
ブレーキレバー 取付け部	－ シリコングリースで潤滑		✓		✓	
ブレーキペダル 取付部	－ リチウム系グリースで潤滑		✓		✓	
クラッチレバー 取付け部	－ リチウム系グリースで潤滑		✓		✓	
サイドスタンド	－ 動作確認 － リチウム系グリースで潤滑		✓		✓	

項目	作業	1.000km (600mi)	5.000km (3.000mi)	10.000km (6.000mi)	15.000km (9.000mi)	20.000km (12.000mi)
フォーク	－ 動作確認とオイル漏れ点検		✓		✓	
	オイル交換			✓		✓
	オイルシール交換		✓			✓
リアショック アブソーバー	－ 作動確認とオイル漏れ点検		✓		✓	
リアサスペンションの 結合部	－ スイングアーム動作点検		✓		✓	
	－ リンクアーム、ピボット部の 動作点検				✓	
エンジンオイル	－ オイルレベルとオイル漏れ 点検	1.000 km毎				
	－ 交換	✓	✓	✓	✓	✓
エンジンオイル フィルター	－ 交換	✓	✓	✓	✓	✓
冷却システム	－ クーラントレベルと漏れ点検		✓		✓	
	－ クーラント液交換	3 年毎				
フロント ブレーキと リアブレーキ スイッチ	－ 動作点検	✓	✓		✓	
可動部品と ケーブル	－ 潤滑	✓	✓	✓	✓	✓

項目	作業	1.000km (600mi)	5.000km (3.000mi)	10.000km (6.000mi)	15.000km (9.000mi)	20.000km (12.000mi)
スロットル コントロール	- 動作点検 - スロットルグリップの遊び点検 - 必要に応じて調整 - ケーブルとスロットルの潤滑		✓		✓	
ライト、 シグナル スイッチ	- 動作点検 - ヘッドライトビームの調整	✓	✓		✓	

製品	特性	備考
4-ストロークエンジンオイル	AE 10W30,10W40,15W40, 20W40, 20W50, API規格のSGグレード もしくはそれ以上のグレード、 JASO規格のMAグレード	鉱物油は使用しないでください。
ベアリング、ジョイント、接合部、 レバー用グリース	リチウムグリース	
クーラント	有機添加物を含むエチレングリコール ベースの 不凍液	水で希釈しないでください。
フォークオイル	フォークオイル等級 15W	
トランスミッションチェーン潤滑剤	トランスミッションチェーン用 スプレー グリース	
ブレーキオイル	DOT 4 or 5.1 ブレーキフルード	
電接点クリーナー	コンタクトクリーナー	
燃料グレード	オクタン価 95もしくは 98の無鉛ガソリン	PETROL FUEL TYPE E5 E10
エンジンカバーや各部接合部のシール剤	スリーボンド N. 1215®	
ネジロック剤	ミディアムスレッドロッカー	
ボルト外し用潤滑剤	ネジロック剤を除去	
ネジ締結用摩擦防止潤滑剤	一般的なエンジンオイル	

製品	特性	備考
ラバーオイルシールとORパーツの潤滑	リチウム石 鹼 グリース	
バッテリー 端 子	ホワイトワセリングリース	
洗車	常温の定圧水と環境に配慮した自然素材の 液体石 鹼	強力な洗剤は使用しないでください
ブレーキシステム外部の清掃 (ディスク等)	スプレーディスクブレーキクリーナー	ブレーキパッドおよびプラスチック部品のクリーニングには使用しないこと

テクニカルデータ	
全長	2148 mm
全幅	815 mm
全高	1185 mm
ホイールベース	1425 mm
走行整備重量	127 kg
最大積載重量 (車両, ライダー, 荷物)	202 kg
エンジンタイプ	4-ストローク単気筒
シリンダー 数	1
総排気量	250 cc
シリンダー 内径/ピストンストローク	77x53,6
圧縮比	11,20:1
始動方法	Electric
アイドリングスピード	1200±100
クラッチ	オイル式多重ディスク
潤滑システム	オイル式トロコイドポンプ圧縮システム
冷却方法	水冷
クーラント	1,5 L (0,32 UK gal, 0,39 US gal)
ギヤボックスタイプ	6速 エンジン左側のギヤチェンジペダル

テクニカルデータ	
ギア（変速）比	1速 1:7,52 2速 1:5,24 3速 1:3,88 4速 1:3,20 5速 1:2,79 6速 1:2,56 減速最終比 3,571
ドライブチェーン	Regina 520, モデル135 ZRA, 112 リンク
エアフィルター	ペーパー
燃料タンク容量（予備タンク含む）	8,5 L/2 L
予備タンク容量	1L
エンジンオイル	量（分解時）: 1.8L(0.4 UK gal, 0.48 US gal) フィルター交換なし: 1.15L(0.25 UK gal, 0.3US gal) フィルター交換あり: 1.2L(0.26 UK gal, 0.32 US gal)
シート	1
最大積載重量（ライダー, 同乗者, 荷物）	202 kg
燃料供給システム	34mmシングルボディ ATHENAインジェクション シングルポイントインジェクター
燃料	オクタン価 95もしくは 98の無鉛ガソリン PETROL FUEL TYPE E5 E10

テクニカルデータ	
フレーム	クロムモリブデン鋼
スイングアーム	リンク式サスペンション取り付け部を有する スチール製スイングアーム
サスペンションアングル	65°
ステアリングアングル	45°±3°
フロントサスペンション	油圧式テレスコピックフォーク 271mm
リアサスペンション	プリロード及び減衰調整機能付き モノショックアブソーバー 105mm

テクニカルデータ	
フロント リム / タイヤ	フロント Axle : 90/90 -21 40L -21" x1,60" 170kPa 空気圧 : 舗装路 1,6 bar / 未舗装路 1,3 bar
リア リム / タイヤ	リア Axle : 120/ 90-18 37L - 18"x1,85" 180kP 空気圧舗装路 : 1,6 bar / 未舗装路 1,3 bar
スパークプラグ	NGK CR8E
バッテリー	GS YTX9-BS
ヒューズ	メインヒューズ 30A セカンダリヒューズ 10A,15A
ジェネレータ	12V 210W
ターンシグナル	HY6W-オレンジ
ハイ/ロービームライト	Led
ポジション/ブレーキライト	Led
ライセンスプレートライト	テールライト一体式
燃料残量表示灯	ダッシュボード一体式
ターンシグナルインジケータライト	ダッシュボード一体式
ニュートラルインジケータライト	ダッシュボード一体式
油圧警告灯	ダッシュボード一体式
水温警告灯	ダッシュボード一体式
ハイビームライトインジケータ	ダッシュボード一体式
フロントブレーキ	ディスク 260mm 油圧
リアブレーキ	ディスク 220mm 油圧